～研修医日記～

Vol.6　『職場内での序列』　―無礼講専修医編―

～とある日の手術室の風景～

無礼講専修医:「さて、今日は外科専修医になって初めてのラパヘル（腹腔鏡下ヘルニア根治術）や。しっかり予習もしてきたし、バッチリ手術を完遂させてみせるぞ～！！」

手術室にて～

無礼講専修医:「〇〇さん(手術室ナース)、今日ってカメラは 2D カメラですよね？」

当院では、2016 年 1 月より 3D 内視鏡外科システムを導入しており、内視鏡手術の安全性、効率性の向上に役立っている。ラーニングカーブの改善にも貢献しており、若手外科医にとっては大変ありがたいカメラなのである。時々、部長が裸眼で手術室に入って来てはモニターを見ながら「あかん！今日は物が二重に見えて目の調子が悪いわあ～～！！！」と一言残して退場するシーンも見受けられるが・・・・・・💧💧

当院には 3D カメラは 1 台しかないために(※)、原則として長時間手術や悪性疾患の内視鏡手術に優先して使用されている。また同じような手術が並んでいる手術日では、先輩から 3D カメラが割り当てられるという年功序列式になっている。当然一番下っ端の僕は 2D カメラでの手術になるのである（余っていたら使わせてもらえる)。

手術室ナース:「いえ、今日は 3D ですよ！」

無礼講専修医:（あれっ？　今日って隣の部屋で、1 年上の赤パン先生もラパヘルしているよな？　僕、3D カメラ使っちゃっていいのかな・・・。まっいいか。）

3D カメラや上級医のご指導により、手術は無事完遂することができた。

無礼講専修医:「ふぅ、なんとか無事終わった。明日も同じ手術あるから頑張ろう！！」

翌日、手術室にて

無礼講専修医:「今日ってカメラは 2D、3D どっちですか？」

手術室ナース:「3D カメラですね。」

無礼講専修医:（あれっ？　今日も隣の部屋で、赤パン先生が同じ手術しているよな？　なんでこんなことが起こっているんやろか。）

すると、手術室に部長が入ってきた。

部長:「あれっ？　物が二重に見えてるということは･･･今日は 3D カメラか？」
（一応部長も進化しているようである･･･）

無礼講専修医:「はい、そうみたいです。普通なら赤パン先生の手術のほうで 3D カメラになると思うんですけど･･･。」

すると部長は、なにかを悟ったような様子でニヤニヤしていた。

無礼講専修医:「･･･？　どうしたんですか？」

部長:「どうやらお前は赤パンより序列が上やということやな。手術室スタッフがそう判断してるということやわ。 笑笑笑」

無礼講専修医:「フッフッフッ、そういうことか･･････シメシメ･･････」

後日、手術室で･･･

部長:「何で無礼講専修医と赤パン専修医の序列が入れ替わってんの？？」

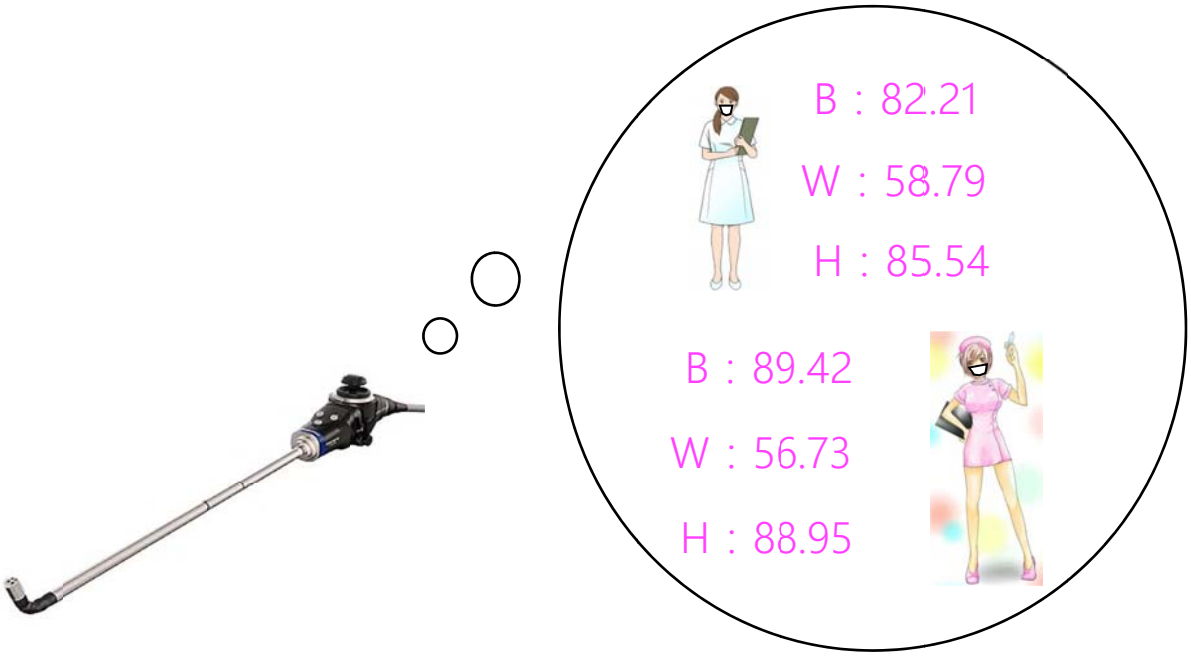
手術室ナース:「それがですねえ～、赤パン先生ったら 3D カメラを使って女性の身体を立体的に捉えてスリーサイズを正確に測定してしまうっていうとんでもない特技があって、3D カメラを与えると私たちを追いかけ回すんで、大迷惑してるんですよ～～！！💢だから赤パン先生には 3D カメラを与えないようにしてるんですっ！！💢 部長からも何か言ってやってくださいよ～～！💢

部長:「なぁ～～～にぃ～～～？？　それじゃあ、オイラも早く 3D カメラの使い方覚えなくっちゃ～～！！！❤️ 」

手術室ナース:「（･････うちの外科医たち、大丈夫かいな？？💧💧･････）」

（※） 3D カメラについては、最近 joy stick 式の最新型の 2 台目が導入された

【変集者後記】
昨今は昔に比べると、序列というものは緩くなってきているようである。
しかしここの外科の序列については、外科医のキャラクターの濃さで崩壊しつつあるようだ。
手術室ナースが心配しているのも納得出来る。
部長や専修医達のやりとりを見ていると、そう遠くない将来に下剋上が起こるような気がするのは私だけであろうか･････？


B : 82.21
W : 58.79
H : 85.54
B : 89.42
W : 56.73
H : 88.95